



2006年11月1日発行 第173号

発行所 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会 〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody21-9階 TEL.(03)3356-8217 FAX.(03)3356-8637 発行責任者:品川 保弘 http://www.marrow.or.jp/ E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座 00150-4-15754 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655

全国協議会役員立候補受付開始

第4回役員選挙を告示

全国協議会の第4回役員選挙に際し、10月2日付で品川保弘理事長より委嘱された選挙管理委員5名により、10月8日に第1回選挙管理委員会が開催され、先のとおり選挙告示内容を決定いたしました。

第4回役員選挙のための第1回選挙告示

2007年度および2008年度役員を選考を行います。「役員選考規程」並びに「選挙細則」に基づき下記の通り告示します。

2006年10月23日
選挙管理委員長 梅田正造

- 1. 選挙管理委員会
委員長：梅田正造
副委員長：田中幸一
委員：小野田守男、山下晋司、黒川紀子 以上5名
- 2. 役員任期
2007年7月1日～2009年6月30日
- 3. 役員の数
会長1名、副会長3名、理事18名(正会員の推薦を要する理事10名、推薦を要しない公募による理事8名)、監事3名
推薦を要する理事の地区定数
北海道1名、東北1名、関東甲信越2名、東海北陸1名、近畿1名、中四国2名、九州2名、計10名
- 4. 選挙日程
第1回告示：2006年10月23日(月)
*立候補受付開始、届出書等配布
立候補届出締切：2007年1月29日(日)
第2回告示：2007年2月16日(金)
*立候補者最終発表、投票用紙配布
- 5. 立候補者への注意事項
(1)必ず所定の届出書に記入して提出して下さい。届出書は選挙管理委員会事務局(TEL:03-3356-8217 FAX:03-3356-8637)に請求するか、ホームページ(http://www.marrow.or.jp/)からダウンロードして下さい。
(2)届出書に自署押印の上、推薦書、立候補者の顔写真を同封の上、必ず簡易書留で郵送して下さい。
(3)立候補者に必要な推薦者(団体)の数は、会長7団体以上、副会長5団体以上、監事3団体以上、推薦理事3団体以上です。但し、公募理事に推薦者は不要です。
(4)推薦書は、所定の用紙に推薦団体に記入してもらって下さい。用紙は選挙管理委員会事務局に請求するか、ホームページからダウンロードして下さい。

造血細胞移植医療将来像検討会議を発足

日本骨髄バンクが設立されたのが、今から遡ること15年前。その後、骨髄バンクは多くの問題を抱えたまま、その組織体制を見直しすることなく事業を継続してきました。すなわち、「国の主導のもと、骨髄移植推進財団が主体となり、日本赤十字社および地方自治体が協力する」という構図です。この体制が骨髄バンク事業における責任の所在を不明確にし、日赤や地方自治体の積極的な関与を阻害してきたことは言うまでもありません。もはや、この根本的な体制にメスを入れない限り、ドナー希望者の善意を最大限に生かし、骨髄移植を必要とする患者さん

財団職員解雇問題で要望書

昨年10月のマスコミ報道に端を発した財団幹部職員によるセクハラ・パワハラ疑惑問題で、「虚偽の報告により個人に対する誹謗中傷を行い、新聞報道に発展して財団の社会的信用を損なった」などとして、内部告発を行った職員が9月26日付けで

解雇されました。なお、疑惑の対象者であった財団幹部職員は今春任期半ばで依願退職しています。この問題については全国協議会は、10月15日の第65回理事会の決定に基づき、「セクハラ・パワハラ疑惑に関する貴財団の一連の取り組みについて」と題する要望書を、財団に提出しました。その内容は別紙の通りです。全国協議会としては、財団に対して適切な対応を求めていきたいと考えております。

2006年10月24日

特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
理事長 品川 保弘

財団法人骨髄移植推進財団
理事長 正岡 徹 殿

セクハラ・パワハラ疑惑に関する貴財団の一連の取り組みについて(要望)

拝啓 貴職におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。

さて、過日、貴財団元幹部職員のセクハラ・パワハラ疑惑を告発した職員が解雇されたという報道がありました。告発内容については、本年3月20日付の貴財団プレスリリースにおいてそのような事実はなかったとの公式見解が示されましたが、その後、外部調査を行った三谷弁護士が「調査報告内容」と記者発表内容が異なる」として報酬を返還したことも報道されました。そのような状況の中での今回の処分については、社会的に妥当性のあるものかどうかとの疑念の声も出ております。貴財団は、その財源の多くを国庫補助金と国民からの寄付で賄っています。したがって、貴財団には一連の騒動の顛末を含め、この件について国民に対し明確に説明する社会的責任があると思量いたします。

また、このような内部騒動が何度となくマスコミで取り上げられていることで、貴財団の社会的信用が低下していることは否めないところで、仮にこの職員解雇問題が今後裁判に発展した場合、さらなるマスコミ報道により、これまで以上に社会的注目を浴びることが予想されます。ドナー登録者数が好調に増加し、骨髄移植件数も堅実に増えてきている中で、内部騒動による社会的信用の低下は、骨髄バンク事業にとって大きなマイナス要因となりかねないと危惧いたしま

す。貴財団には、患者、ドナー、ドナー希望者や多くの骨髄バンクの支援者の皆様が抱いた不信の念を払拭し、骨髄バンク事業への信頼を回復するための措置を早急に講じる必要があると思量いたします。

つきましては、下記のとおり要望いたしますので、最高責任者である貴職の見解と貴財団としての対応を、11月20日(月)までに文書にてご返答くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 元幹部職員のセクハラ・パワハラ疑惑について、貴財団の記者発表後に外部調査委員会の三谷弁護士より、記者会見の内容が報告書の内容を正確に反映していないとの指摘がありました。これらに関しては現在も情報が錯綜し、真実が明らかとなっておりません。そこで、セクハラ・パワハラ告発から告発職員解雇までの一連の事実関係を明らかにするとともに、貴財団が下した判断の根拠を示してください。
2. この一連の騒動が骨髄バンク事業に与えた影響は小さくありません。財団の信頼回復に向けた具体的な方策を示してください。

以上

第65回 理事会報告

10月15日

全国骨髄バンク推進連絡協議会
事務局

〈9月会計報告〉

- 名義後援、承認案件
- 「いのちの輝き展」等開催時の負担金(協力金)の改訂
- 財団職員懲戒処分問題について

〈協議事項〉

- 財団召集の「将来展望に関する検討会議」参加について
- 大谷会長講演関連
- 確認検査未実施ドナー登録者

〈報告事項〉

- 「造血細胞移植医療将来像検討会議」について
- 「白血病と言われたら」進捗状況
- 東急グループ、ソニー生命他支援企業関連
- 財団関連



骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンクNOW

● 将来展望に関する検討会議の設置について

9月20日に行なわれた常任理事会において、「将来展望に関する検討会議」の設置について審議され、可決されました。この会議は、年間移植件数が1000件を超える状況においても安定的に骨髄液を仲介できる体制や、ドナー登録者が30万人を達成した後のドナープールのあり方等、骨髄バンク事業の将来のあるべき姿とその実現に向けて取り組むべき課題などについて、各界の有識者によって、検討していただくものです。

10月末から6ヶ月程度の期間を設けて実施し、平成19年6月の理事会、評議員会に答申を行う予定です。

● 巨人軍、上原投手が闘病する子供たちとテレビ電話で交流

10月4日、骨髄バンクの支援活動を行っている読売巨人軍が、支援活動の一環として、東京ドームと東海大学医学部付属病院(神奈川県伊勢原市)をテレビ電話で結び、上原浩治投手が同病院に入院する子供たちと交流しました。同病院で血液難病等の病気と闘病する子供たちの代表4人が、東京ドームにいる上原投手とテレビ電話を通じて会話を楽しみました。上原投手からは、子供たちを勇気づける温かなメッセージの他に、ひとりひとりにサインボールがプレゼントされました。

● 患者負担金改定に関する訂正について

8月1日検査実施分より、患者負担金を改定致しましたが、ご案内の一部に誤りがありました。ドナー候補者の本人確認HLA検査費が10,395円のところ、18,900円と表示されておりました。お詫びの上訂正させていただきます。なお、この検査費は患者負担金軽減積立金から充当されるため、患者負担額の増減はございません。

● 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。
常任理事会(公開) 11月15日(水)17:00～19:00 廣瀬第1ビル2階会議室

● 日本骨髄バンクの現状(平成18年9月末現在)

	8月	9月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,029	3,907	260,533	328,792
患者登録者数	199	148	3,286	21,345
骨髄移植例数	69	88	-	7,738
20歳未満ドナー	175	194	3,925	-
51歳以上ドナー	206*	112**	4,841***	-

注) 数値は速報値のため次月に訂正されることがあります。
*51歳以上ドナーの延長数 **51歳以上ドナーの新規登録数 ***17年9月～

心からのご寄付に 感謝申し上げます

9月21日～10月20日

㈱タクトコーポレーション	現金	30,000円
株式会社サクラホーム	現金	10,000円
鷺宮ライオンズクラブ	現金	10,000円
菊水酒造株式会社	現金	500,000円
NPO法人子育て広場あいくる	現金	10,000円
骨髄バンクチャリティライブ実行委員会	現金	50,000円
徳田ひろみ	現金	1,620円
中村恵美子	現金	1,640円
吉本哲也	現金	1,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
米倉正子	現金	10,000円
鈴木純子	現金	1,340円
中島久子・裕介	現金	8,380円
匿名	現金	14,112円
鈴木秀三	現金	28,984円
松尾元春	現金	30,000円
浅野邦夫	現金	10,000円
山内永子	現金	10,000円
飯島孝枝	現金	2,240円

●佐藤さち子患者支援基金

骨髄バンク、GATHERの会	現金	11,320円
骨髄バンクチャリティライブ実行委員会	現金	120,000円

●白血病患者支援金

磯屋食堂	現金	3,299円
フジ北条店	現金	2,577円
鎌倉屋	現金	3,532円
アリスいわた薬局	現金	10,177円
イイズカ薬品大友店	現金	1,938円
みのわクリーニング	現金	3,572円
東洋彫刻製作所	現金	6,097円
信和クリニック	現金	517円
山形庶民信用組合	現金	1,534円
松井加世子	現金	1,100円
骨髄バンクを推進する会 (栃木県)	現金	30,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

推進月間を翌日に控えた9月30日、西新宿のパークタワーホールにて骨髄移植推進財団主催の全国大会が行われ、全国各地から協議会の会員や関係者が集いました。

「明日への扉」を上演している専門学校の学生会進行を行い、高校生の吹奏楽演奏と若い方達の応援を受けながらのステージ展開でした。だからこそ若い方

骨髄バンク推進全国大会2006に参加して

にもつと来て頂ければなあと感じました。骨髄バンクを知って頂く為の活動は我々も常に集客の難しさを感じています。

骨髄移植推進財団が設立されて12月で15年になります。司会者の呼びかけで、その間に亡くなった方々に黙祷をささげ、これまでを反省しながら明日への前進を誓った一日でした。(菅)



(斉木)

三菱ウェルファーマ株式会社
http://www.m-pharma.co.jp

創薬力



10月8日イオン倉敷店にて集団登録会を行いました。本店舗での登録会は今回で23回目です。当日は26名の登録があり、累計では1041名の方に登録していただいたことになりました。

当日は医療専門学校で活躍する学生さんも加わり、バルーンアートを作成したり、風船やチラシを配ったり、参加者全員が大活躍でした。同じ場所での登録会が定着したと実感した一日でした。(原田)

岡山

イオン倉敷店で 23回目の登録会

10月8日イオン倉敷店にて集団登録会を行いました。本店舗での登録会は今回で23回目です。当日は26名の登録があり、累計では1041名の方に登録していただいたことになりました。

当日は医療専門学校で活躍する学生さんも加わり、バルーンアートを作成したり、風船やチラシを配ったり、参加者全員が大活躍でした。同じ場所での登録会が定着したと実感した一日でした。(原田)

各地の たより

愛知
6年生の子供たちによる「登録の呼びかけと募金活動」

10月14日、さわやかな秋晴れの空の下、名古屋市立呼続小学校6年生の児童約40人と職員12名の大きな声が街中に響きわたりました。

「命のアサガオ」がきっかけで骨髄バンクのボランティア活動を行いたいとの連絡をいただきました。総合学習の時間に講師として招かれ、事前勉強。「凍った炎」のビデオもちゃんと理解して観る事が出来るようになりました。活動当日、声を出すことに慣れてくると恥ずかしさうに呼びかけていた子も終盤にはビクビクするくらい立派に……。



新潟
くびき野100キロ
マラソンでの登録会

新潟県上越市は、日本海と妙高山などの山々に囲まれた平野の街です。この地で毎年100kmマラソンが行われており、全国から1500名もの参加者が集まります。今回実行委員会からの嬉しい提案により、10月13日に前夜祭前のプレイベントとして初めてドナー登録会が開かれました。当日は平日の午後という事で、医師や看護師の手配に苦労しました。また、選手や地域への事前告知ができなかったため、会場近辺の大型店や教育所、保育園にチラシやポスターの掲示をお願いして回りました。その甲斐あって、3時間で36名の登録となりました。今回は私達、育てる会にとっても良い経験となりました。この登録会が、今後も100kmマラソンのイベントとして定着される事を心より願っています。(斉木)

各地のたよりに
写真を添えて
お寄せください。

宮城
いのちの輝き展と
サッカー会場でのPR

9月25日、29日の平日5日間、仙台市役所ロビーにて「いのちの輝き展」を開催しました。会場には輝き展の10点セットに加えて、移植を望みながら4年前に亡くなった県内出身の服飾デザイナー 山本竜さんの作品も展示に加えたので、合計で46点にもなりました。ロビー付近の設置には厳しい制限があるので、市職員Sさんの熱意のおかげで、予定していた全ての作品を展示することが出来ました。また、9月30日には、ベガル

タ仙台の試合会場にてギフト・オブ・ライフ 7000部を配布すると共に、オーロラビジョンで志賀としえさんの映像を2回上映し、サポーターからも好評でした。

宮城県では、8月末にドナー登録目標人数が設立15年にして全国で15番目に達成したことも重なったため、マスコミの皆さんも熱心に取材して下さいました。

岡山

イオン倉敷店で 23回目の登録会

10月8日イオン倉敷店にて集団登録会を行いました。本店舗での登録会は今回で23回目です。当日は26名の登録があり、累計では1041名の方に登録していただいたことになりました。

当日は医療専門学校で活躍する学生さんも加わり、バルーンアートを作成したり、風船やチラシを配ったり、参加者全員が大活躍でした。同じ場所での登録会が定着したと実感した一日でした。(原田)

大谷会長 走る

平成18年10月18日、さいたま市立大砂土中学校にて、ふれあい講演会「命の大切さを考える決断！命の一滴」が、全校生徒と保護者を対象に開催されました。プロジェクトXを見ました。大谷貴子さんが登壇され、さおりちゃんの事やご自身の白血病の事を話された後、サブ

イズゲストとして日本の骨髄バンクドナー第一号の田中重勝さんが登壇されました。お二人による講演は、田中さんの骨髄移植の体験とお話を中心として、命の大切さや生きていくことのありがたさを実感する時間でした。生徒達は二日間にわたる中間テスト終了直後でしたが、道徳の教科書やプロジェクトXに登場した田中さんや大谷さん本人が自分達の目の前に現れたこともあり、驚きと感動の講演を最後までしっかりと聴くことが出来ました。

(さいたま市立大砂土中学校PTA会長 天野)

リレー紹介 ボランティアの仲間たち

本間裕子さん(小樽)の巻

恩師の息子さん(小樽)が再生不良性貧血で他界されて骨髄バンクの存在を知り、7年前に登録。当時小樽市内では登録ができて、「骨髄バンクって何？」という人がほとんどでした。認知度が低いという事は逆にまだまださんの可能性がある！と思ひ、北海道骨髄バンク推進協会札幌支部の協力を得ながら、PTA主催の勉強会や、地元FM局等でPRを重ねてきました。最近では市内でも献血併行ドナー登録会が開催されるようになった



ごんにちは募金箱 その27

東洋彫刻製作所 (兵庫県姫路市)

今回は、姫路市で、屋外・屋内サイン全般の製作・レーザ彫刻・各種看板、などを製作されている東洋彫刻製作所に募金箱を設置させていただきました。この会社は代表者の息子さん3人を中心とした若きスタッフ14名ほどの方が仕事をされています。来年には、事業拡張のため、夢前町に会社を移転されるよう



2006年度賛助会員 (9月12日～10月20日)

美濃加茂あじさいライオンズクラブ	ファイザー株式会社
アステラス製薬株式会社	徳島藍ライオンズクラブ
東京町田グリーンライオンズクラブ	瑞浪桔梗ライオンズクラブ
横浜神奈川東ライオンズクラブ	西那須野ライオンズクラブ
新生ビル管理株式会社	大宮シティーロータリークラブ

全国協議会の活動にご賛同頂き、誠にありがとうございました。引き続き、企業・団体のほか、個人の皆様からのご協力も募っております。どうぞよろしく願いいたします。

団体(法人) 年会費 1口5000円/個人会員 年会費 1口2000円
※お申し込みは全国協議会事務局までお願いいたします。